

INTERVIEW

にわ・たかし
丹羽 隆志さん



『サイクリングは人と地球を
楽しく健康にする』

●自転車のツアーを催行しようと思いついたのはいつですか？

1990年代にアメリカに滞在していたときに自転車のツアーを体験し、日本に帰って自分で始めました。ツアー参加者は自転車の初心者や昔自転車に乗っていて、定年などを機にもう一度やりたいと思っているシニアの人が多いです。女性のツアー参加者も増え、最近では半分が女性です。男性はレースや自転車そのものに関心があり、女性は自転車に乗って旅をすることに興味があります。ツアーといつても、自転車への関心の持ち方が様々に異なっていて興味深いです。

●Terzoのサイクルキャリアを選んだきっかけは？

2001年頃に「フォード／スペシャライズド」というMTBのチームがありました。

スペシャライズドというのはアメリカに本拠を置く、自転車や用品等の総合メーカーです。私もスペシャライズドに深く関わりながらサイクリングツアーを始めました。

そのフォード／スペシャライズドのメンバーが使用していたのが、Terzoのサイクルキャリアでした。

そのしっかりとした作りと扱いやすさに惹かれて、私も使用するようになりました。

●Terzoのサイクルキャリアの良い点はありますか？

Terzoのいいい点は、自転車を積んだとき安定していて、走行中でも揺れないこと。

また、自転車の固定が簡単なところです。

20年近く上使っているんですが、壊れません。

●自転車を運ぶ際に困ることは？

運転しているときに、ルーフキャリアに載っている自転車の状態が気になることがあります。また、高架の下をくぐるときは、引っかかるのではないかと心配です。自分はミラーを手作りで取り付けて上の様子が見られるようにしています。

ホテルなどに駐車するとき、自転車を複数台積んだままにすることがあるんですが、盗まれないようまとめて鍵をかけられるようになるといいと思います。

雨天時は、自転車が雨を被らないようにブルーシートをかぶせています。軽く取り付けやすく、走行中も飛ばされないカバーがあるといいです。

「車で自転車を運ぶのは難しい」「積み方がわからない」と思っている人が多いので、ツアー参加者へのレクチャーや書籍を通じて、キャリアの積み方を紹介しています。



PROFILE

丹羽 隆志さん

『サイクリングは人と地球を楽しく健康にする』をテーマに、
その魅力を発信。

『にわサイクリングツアーズ』主宰。サイクリングのライターの傍ら、メディア出演やサイクリング講師なども務める。アメリカの自転車メーカー『スペシャライズド』社のアンバサダーでもある。

著書も多く、『新版 自転車トラブル解決ブック（山と溪谷社）』他、雑誌、新聞などに多数執筆。

他に『サイクリングホリデー東京』として、東京を訪日外国人向けに、毎日ガイドするプロジェクトにも注力。ツアーへの参加は、ホームページ、または旅行代理店にお問い合わせください。

